書式第８号（法第１０条・第２５条関係）

２０１９年度　事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイジング・ジャパン

１　事業実施の方針

この法人は、仲間を増やしてコミュニティをつくり、力を生み出し、その力を戦略的に使って社会を変えていく手法であるコミュニティ・オーガナイジングを通して多くの市民のリーダーシップを育み、人と人との強いつながりを生み出し、人々が主体的によりよい社会を目指して行くことに寄与することを目的としている。2014年の団体設立後、各地でのワークショップ開催を通して、日本の市民社会にコミュニティ・オーガナイジングを広めてきた。そのワークショップ受講者の中から、実際に地域で変化を起こすためのコミュニティ・オーガナイジング実践事例が生まれ、その実践のサポートも行ってきた。2018年度は全国でのワークショップを開催し、その内容の改善に努めることができた。また、過去のワークショップ参加者がスタッフとしてワークショップ運営側として、中心的な役割を果たせるような育成にも力を入れた。2019年度は若い世代がコミュニティ・オーガナイジングを学び、どう社会課題解決に生かせるかを考え実践できるような機会を設けることと、コミュニティ・オーガナイジングをより多くの人に知って使ってもらうために、それを推進する人材育成に力を入れる。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実　施 予　定 日　時	実　施 予　定 場　所	従事者の予定人　数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予定額（千円）
ワークショップ事業	普通の市民が立ち上がり、その持てる力をコミュニティのために結集し、社会の仕組みを変えていくリーダーシップを育むためのワークショップ（コミュニティ・オーガナイジング・ワークショップ）（2回）	2019年 8月31日,9月1日 2020年 2月15日,16日	都内	15人	全国各地で活動しているNPOリーダー72人	9071
	上記ワークショップを外部団体からの委託を受けて、主に地方で開催するもの	2019年 8月（大阪） 10月（都内）	各地	15人	NPOや社会課題の解決などに関心がある人80人	
	人々を行動に動かすための語り方を扱うワークショップ（パブリック・ナラティブ・ワークショップ） ※これも主に外部団体からの委託を受けて実施するもの	2019年 4月（都内） 5月（都内） 6月（広島） 7月（都内） 8月（都内） 2020年1月 （岡山） 他	各地	5人	NPOや社会課題の解決などに関心がある人250人	

	目的・対象ごとにカスタマイズしたワークショップ ※これも主に外部団体からの委託を受けて実施するもの	2019年 4月（長野） 5月（都内） 6月（都内） 他	各地	5人	NPOや社会課題の解決などに関心がある人150人	
	若い世代を対象としたワークショップ（リーダーシップを育む型と語り方を学ぶ型の2型） ※主催	2回	都内	15人	若い世代（10～30代）で社会課題に対して行動したいと思っている人、職場や地域での関係構築や人と何かを進めることをもっと気持ちの良いものにしていきたいと思っている人50人	
	日本各地でのワークショップ開催を支援し、地域のキャパシティを広げるための人材育成と資料の改訂（翻訳作業含む）	通年	全国	6人	過去のワークショップのコーチ、講師経験者10人	
オーガナイジング事業	自閉症児の親の会の活動支援（コミュニティ・オーガナイジングを生かした機能するチーム作り、活動継続を目指すもの）	1～2カ月に1回程度を想定	福岡	1人	自閉症児親の会のリーダー8人	670
	性被害当事者が生きやすい社会の実現を目指す当事者を中心とした団体の活動支援	月1回程度を想定	都内	2人	団体のリーダーや新しく活動に加わるチームメンバー20人	
	コミュニティ・オーガナイジングを実践するチームにストーリーの語り方、チーム構築、戦略の作り方を教える	2回	都内、福島他	4人	コミュニティ・オーガナイジングを実践するチームメンバー30人	
	待機児童を解消し、就労に関係なく質の良い保育園に希望する人が入園できる社会をめざす団体の活動支援	年2回程度を想定	都内	2人	団体のリーダー20人	